

党石川県本部大会であいさつする高木政調会長＝3日 金沢市



石川県本部大会で高木政調会長

現場の声を公明が実現

統一地方選 勝利へ一丸

公明党の高木陽介政務調査会長は3日、金沢市で開かれた党石川県本部大会に出席し、政府の総合経済対策に公明党の提言が大きく反映されたことを力説するとともに、来年の統一地方選に向けて「全議員が一丸となって戦い抜こう」と呼び掛けた。

高木政調会長は、家庭や企業が苦しい状況にある中、公明党が「物価高対策の一丁目一番地は電気・ガス料金だ」と政府に訴えた結果、総合経済対策に電気・ガス料金の負担軽減策が盛り込まれたことを報告。ガソリンなどの燃油補助も含めて来年1月から9月にかけて、一般家庭で総額約4万5000円の負担減が見込まれていることを語った。

その上で「公明党が現場の声をしっかりと受け止め、一人一人に寄り添ってきたからこそ実現できた」と強調した。子育て支援については、サポートが手薄になっている0〜2歳児に焦点を当てて、妊娠・出産時の給付や伴走型の相談体制が総合経済対策に入ったことを紹介。「これからも公明党を応援して良かったと思える政策を

実現していく」と述べた。来賓の馳浩県知事があいさつ。中川宏昌衆院議員、新妻秀規、上田勇の両参院議員が出席した。